

特別講演

「消化器疾患の検査について」

5月12日（木）14:00～14:30

2階講堂にて

講師：船津内科医院副院長

船津康裕 先生

医師不足 苦境の済生会江津
Uターン医が助っ人

医師、看護師不足に苦しむ江津市江津町の島根県済生会江津総合病院（堀江裕院長）で今月から、同市内にUターンした医師が助っ人として週2日、消化器内科で診療や検査を受け持っており、疲弊する地域医療現場にあって、貴重なマンパワーとなっている。

週2日診療 「お役に立てば」

診療を受け持つのは内 科、父の和夫さん(79)が、Uターンした際には、慣れ、患者ニーズを探る視鏡検査が専門で同市在 市内で開業する医院の後、県済生会江津総合病院で機会になると考えたこと、住の消化器内科医師・船 津康裕さん(41)。東京都 堀郷した。の勤務協力を、と堀江院 長から打診を受けてい 内 の病院に勤務していた 船津さんは数年前か た。同市内の医療現場に

自分が力になれば」とくるボランティア組織がの思いから、協力を快諾した。同病院では、今月から外科などの医師計3人が減員となった上、看護師不足から1病棟(48床)が休止に追い込まれたが、船津さんの加入により消化器内科は医師5人体制と厚みを増した。また、今年1月からは同病院の元看護師らでつ

堀江院長は「大変ありがた。船津さんが呼び水となり、さらに医師確保が進めば」と期待している。

今月から週2日、島根県済生会江津総合病院で診療や検査を受け持っている船津康裕医師（江津市江津町、同病院）



平成22年4月11日
山陰中央新報より